

Mother Earth

まさーあーす● 2008.02.20 vol.34

発行所 株式会社リガメントワールド

愛知県一宮市せんい2-9-6

URL <http://www.ligament.co.jp>

ていねいな洗顔。

ていねいな洗顔は清潔感のある素肌を生み出します。洗顔してての肌を輝かせるには、メイクや皮脂汚れを落とすクレンジングは必需品です。しかし、イライラしたままの粗いハンド使いで洗顔しても、肌は喜びません。ていねいにいたわるような洗顔を！

穏やかな毎日。

「肌に疲れが現れる」イコール「衰え」は、食事や生活、人間関係なども影響します。そんな心身の疲れが肌にござり感となって現れます。イキイキとした生活はイキイキとした肌をつくります。穏やかな心でいると、自然にスキンケアもていねいになります。

肌の清潔感を引き出すクレンジングジェル。

肌に汚れのないこと、つまりキレイにいたるまでの微細な汚れを落とした透明感のある肌への近道に「リガメント・クレンジングジェル」は最適なアイテムです。水溶性ジェルタイプですから、肌に密着した皮脂汚れなどを乳化させながら落とします。クレンジングジェルとソープパウダーのダブル洗顔で、清潔感あふれる肌へ！

リガメント・クレンジングジェル
(洗顔料) 120g ¥3,675



水溶性
手が濡れて
いてもOK

リガメントのお求め・お問い合わせは下記お店で



総発売元／(株)リガメントワールド

花粉やホコリ、皮脂の分泌が活発になる春は洗顔がとても大切になります。

洗顔料には大きく分けて弱酸性と弱アルカリ性のものがあります。弱酸性のものは、弱酸性のお肌をやさしく洗顔でき、しっかりと洗いあげます。石鹼など弱アルカリ性のものは細かい汚れをしっかり落としてサッパリした洗い心地が特長です。

健康なお肌であれば、肌の表面に弱アルカリ性が触れていても短時間に中和して弱酸性に戻す力があります。ですから、弱酸性洗顔料じゃないとダメ！と思わないでくださいね。

ナノサイズのパウダーファンデーションやシリコーン系の油性成分を含んだベースメイクは、とても肌に馴染みやすく、クレンジングと洗顔のダブル洗顔がおすすめです。弱酸性洗顔料のみでは汚れが落ちきらないこともありますから、弱アルカリ性の石鹼なども併用するのをおすすめします。汚れが落ちきっていないと、肌の生まれ変わりの時に、毛穴に詰まっていた汚れがポロポロ落ちることがあります。洗顔は、弱酸性と弱アルカリ性のものを使い分けてスキンケアすることも大切です。



リガメント・ソープパウダー
(パウダー洗顔料)
1.3g×90包 ¥3,675

きめ細かな泡が
肌に負担をかけずに
汚れを浮き上がらせ洗い流します。
しっとりした洗いあがりの洗顔料。



リガメント・モイスチュアソープ
(杵練透明石鹼)
標準重量90g ¥3,360

クリーミイでしっかりした泡が
毛穴の奥の汚れまで
包み込んで落とします。
さっぱりした洗いあがりの石鹼です。



リガメント・ソープパウダー
(パウダー洗顔料)
1.3g×90包 ¥3,675

きめ細かな泡が
肌に負担をかけずに
汚れを浮き上がらせ洗い流します。
しっとりした洗いあがりの洗顔料。



リガメント・モイスチュアソープ
(杵練透明石鹼)
標準重量90g ¥3,360

クリーミイでしっかりした泡が
毛穴の奥の汚れまで
包み込んで落とします。
さっぱりした洗いあがりの石鹼です。



何でも質問コーナー 春の肌トラブルはホルモンバランスも関係？ NO.21

春先から体の新陳代謝が活発になります。また、気温が温かくなったり、急に寒くなったりするため、体は一種の緊張状態になり、大変敏感な状態になるのです。吹き出物ができたり、体調を崩したり、いつもは何でもないものに反応しやすくなります。花粉症の方などは一層、体が過敏な状態です。そのため、いつも使っているスキンケア用品でも痒みやかぶれなどを起こすこともあります。ただ、花粉やホコリ、この時期には急激に増える紫外線も肌トラブルを起こす原因です。春先は、洗顔をしていねいに行い、化粧水で肌を整え、ジェルなど使うおいでキープしてきめ細かな肌でいろんな刺激から肌をガードしましょう。肌が不安定な感じがしたら、使用しているアイテムは変えずに量を減らしてみてください。



成分辞典 難しそうな名前だけ
肌に大切な働きをします。

【ソルビトール】

広く動植物界に存在する多価アルコールで、藻、海藻、タバコおよび多くの果物（リンゴ、モモなど）に含まれています。工業的には精製ブドウ糖を還元して得られます。吸湿作用は緩和ですが、乾燥に対して水分を一定に保つ性質もあるので、保湿剤、柔軟剤として化粧品に用いられます。皮膚や口腔粘膜に対して高濃度でも毒性や刺激性がまったくないので、歯磨きなどにも使用されています。

【多価アルコール】ヒドロキシ基（水酸基）OHをもつ有機化合物（フェノール性ヒドロキシ基を除く）をアルコールといいます。ヒドロキシ基は水分子と水素結合をつくった状態を水和しているといいます。アルコールが多量の水に溶けている場合はほとんどすべてのアルコールが水和していますが、水の量がすぐないときは水和したアルコール分子と水和していないアルコール分子が存在します。多価アルコールについても同様です。またデンプン（広い意味で多価アルコールです）のように、冷水中では一部のヒドロキシ基しか水和していない物質もあります（加熱すると多くのヒドロキシ基が水和してデンプンの形になります）。

手を乾燥から守る4つのポイント

①手を洗ったら水気をていねいに拭き取る。
手が濡れたままになっていると、その水分が気化するときに肌の水分まで奪っていきます。自然乾燥にまかせてはいるとかさかさになってしまいます。

②水仕事はゴム手袋。
お湯や水は肌の脂をどんどん洗い流していきます。お掃除やお洗濯など水仕事のときにはゴム手袋の使用がおすすめです。

③洗剤や石鹼は極力肌にやさしいものを。
荒れた肌に合成界面活性剤が入った食器洗剤や洗濯洗剤は肌のバリア機能を弱める一因になります。

④白湯やお水をたくさん摂る。
ジュースやコーヒーなど利尿効果が高いものは体が脱水気味になり、直接的でなくても乾燥を悪化させることに！

手にうるおいを与える4つのポイント

①保水する。
化粧水やジェルで
しっかり水分を与えます。
乾燥した肌に必要なのは、
まず水分！

②保水したら保護する。
水分をたっぷり含んだ肌を
クリームなどで密封します。

③ビタミンAやB2を摂る。
動物性食品や緑黄色野菜に
含まれるビタミンAは肌の
抵抗力に働いてくれます。
また、卵や納豆に含まれる
ビタミンB2は皮膚を
強くしてくれます。



冬には誰もが悩まる「手あれ」！
意外と冬だけじゃなく年中悩まされている方は多いのです。
やみくもにクリームを塗つてもなかなか改善しないのも悩みの種です。
きれいな手をめざしてていねいなハンドケアの習慣を！

手をいたわるハンドケア！

ちょっといい話
22話

